

緑の丘から

緑の誓い

☆さわやかにあいさつをします
 ☆進んで勉強をします
 ☆きまりを守ります
 ☆心をこめて掃除をします
 ☆みんなど仲良くします



充実の二学期に!!!

例年より一週間ほど早く、夏休みが終わり、二学期が始まりました。子どもたちの生活リズムも夏休み以前に戻ってきているように感じます。
 一日の始業式では、アメリカに伝わる有名なたとえ話を使って「前向きに生活しよう」と言うことを話しました。話の概要は次のとおりです。

靴を売る会社に勤めるAさんとBさんという二人のセールスマンがいました。二人が勤めるのは別々のライバル会社です。あるとき、この二人が、遠く離れた南の島に靴を売りに行くことになりました。長い時間をかけて島に辿り着くと、二人にとってはとても予想外の状況が待ち受けていました。
 なんと、その島の人は誰も靴を履いていなかったのです。

その様子を見たAさんはガツカリしながら、会社の社長に報告しました。
 「社長、えらいところに来てしまいました。私たちにとっては全く用のないところですよ。ここでは靴は売れません。だって誰も靴を履いていないのですから」と。
 一方、Bさんも、興奮しながら社長に連

絡しました。
 「社長、すばらしいところに来ました。ここでは誰も靴を履いていません。靴のよさを知らせたら、たくさん靴が売れます。急いでありつた靴を全部送ってください。」

私は、AさんとBさんの考え方の違いを子どもたちに問いました。Aさんのように「だめだ。絶対無理だ。」と否定的に考えるのか、Bさんのように「いいぞ。工夫しだいで何とかかなりそうだ。」と前向きに考えるかという事です。

これは言い換えると、次のような問いかけになります。
 思うようにいかないな、なかなかできないなと感じた時、「もうだめだ」と立ち止まったりあきらめたりしてしまふのか。「それとも、「あきらめずに努力を続けたり、周りの人の助けを借りながらでも何とか乗り越えよう」としたりするののか。」それは、



みなさん自身の考え方は、心次第だと思えます。私がみなさんをお願いしたいのは、「前向きに生きてほしい」という事です。
 子どもたちにそう訴えました。さらに、「前向きに生きる」とは、もつとわかりやすく言うとどういふことなのか、次のように話しました。

『前向きに生きるということとは』

- 簡単にあきらめないこと
- やればできると信じて取り組むこと
- 粘り強く取り組むこと

だと、説明しました。
 一年で一番期間が長い二学期です。できるようになったこと、分かったことが一つでも増えるように、ぜひ充実した二学期になるよう頑張ってくださいと思います。

教育実習開始

九月四日から、教育実習生が来て、実習を始めています。二人来ています。講義・授業参観・授業の卒業生です。講義・授業参観・授業実習と内容は盛りだくさんです。昼休みは子どもたちと遊んでいます。ぜひ、将来は本校の教壇に立ってほしいものです。

